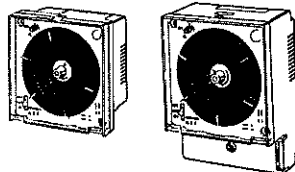


形 H2F-DM, -DMF
モータ式オールディタイムスイッチ

取扱説明書

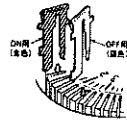
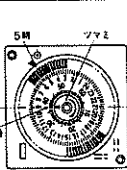
オムロン製品をお買い上げいただきありがとうございます。
この製品を安全に正しく使用していただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をお読みになり、十分にご理解してください。
お読みになった後も、いつも手元においてご利用ください。



オムロン株式会社

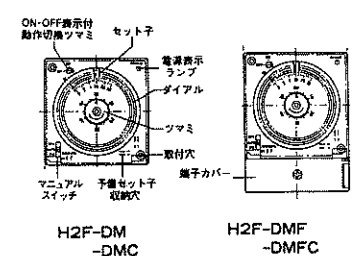
正しい使い方

- 必ず付属の電池を本体に収納させた後、通電してください。電池が取り付けられていない場合は動作表示ランプが点滅し、誤動作しますので必ず電池を取り付けてください。
- 時刻合わせのときは、中央部ツマミを矢印の方向（時計回転方向）にまわしてください。1分単位で現在時刻をセットすることができます。（たとえば図に示します時刻は5時38分を示しています。）この時、ツマミを反矢印方向に無理にまわさないようにしてください。
- セツ子には、ON用（金色）・OFF用（銀色）の区別がありますので、セットされる場合はよく確認のうえ、ダイヤルに確実に差し込んでください。
- セツ子は、ON用（金色）・OFF用（銀色）を交互にセットしてください。
- セツのあと、透明カバーを必ずめてください。
- NO-OFF表示動作切替ツマミを回す場合は、軽く押しごみに右方向（時計回転方向）へまわしてください。



形式名・各部の名称

形式名	定格入力電圧	取付方法	接点構成	制御出力
H2F-DM	AC100-240V	埋込取付	1a	AC250V15A (低抵抗負荷)
H2F-DMC			1c	
H2F-DMF		表面取付	1a	
H2F-DMFC		DINレール取付	1c	



警告表示

警告

端子に触れたり、分解しないでください。感電の恐れがあります。



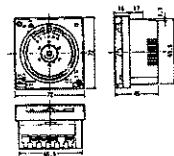
ご使用に際してのお願い

次に示すような条件や環境で使用する場合は、定格機能に対して余裕を持った使い方やフェールセーフなどの安全対策へのご配慮をいただくとともに、当社営業担当までご相談して下さるようお願いいたします。

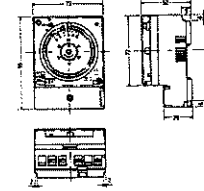
- 取扱説明書に記載のない条件や環境での使用
- 原子力制御、鉄道・航空・車両・燃焼装置・医療機器・産業機械、安全機器などへの使用
- 人命や財産に大きな影響が予測され、特に安全性が要求される用途への使用

外形寸法

H2F-DM, -DMC

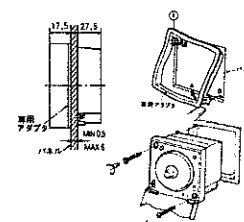


H2F-DMF, -DMFC

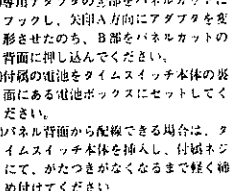


取付方法と取付寸法

埋込取付 (H2F-DM, -DMC)

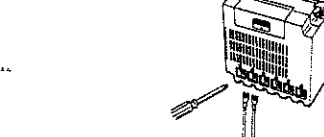


H2F-DMF, -DMFC



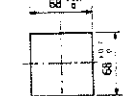
- 専用アダプタのB部をハネルカットにフックし、矢印A方向にアダプタを変形させたのち、B部をハネルカットの背面に押し込んでください。
- 付属の電池をタイムスイッチ本体の表面にある電池ボックスにセットしてください。
- パネル背面から配線できる場合は、タイムスイッチ本体を挿入し、付属ネジにて、がたつきがなくなるまで軽く締め付けてください。

埋込取付 (H2F-DM, -DMC)



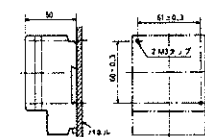
- パネル背面より配線してください。
- パネル背面から配線できない場合（埋込型など）パネル前面で配線し、C部を支点として回転状態に押し込みると同時に付属のネジにて固定してください。

パネルカット寸法

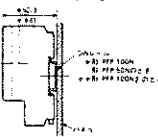


注 本体を取りはずした場合はアダプタのナット部分を初期状態（アダプタ裏面にフック固定）にもどしてご利用ください。

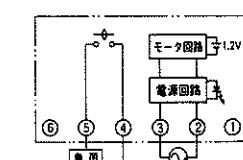
表面取付 (H2F-DMF, -DMFC)



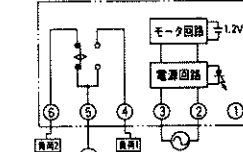
DINレール取付 (H2F-DMF, -DMFC)



表面およびDINレール取付の場合の配線は、端子カバー中央部のネジをゆるめカバーを開いて配線してください。配線後は必ず端子カバーを元の状態にもどしネジ締め固定をして、ご利用ください。



H2F-DM, -DMF ①、⑥はあく端子です。



H2F-DMC, -DMFC ①はあく端子です。注 負荷には負荷用電源を接続してください。

停電補償について

1. 停電補償機能

本タイムスイッチは電源電圧の停電時においても、内蔵の電池によって内部時計回路が計時歩進する停電補償機能を有していますので、電池が有効にはたらく停電補償時間以内の停電ならば時刻再調整の必要はありません。出力の制御も通常どおりおこなえます。ただし動作表示ランプは消灯します。

2. 停電補償時間

停電中は付属の電池を内蔵することにより180時間以上の停電を補償します。ただし、付属の電池はフル充電されたものですが、万一自然放電等で電池能力が低下している場合は、180時間以上の停電補償機能は電池を本体に収めたのち、72時間連続通電された場合に保証されます。なお電池が完全放電している場合、電源を印加してもすぐに動作しないことがあります。この場合3分以上通電後現在時刻をセットしてください。

3. 電池交換

電池の寿命は、約3年です。ご使用後3年以上経過しましたら、できるだけ早く交換してください。電池は別売のオムロン形Y92S-22をお使いください。本タイムスイッチをお買い上げいただいた販売店にご注文ください。



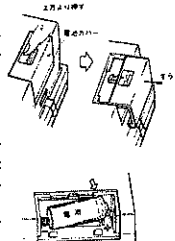
Ni-Cd

4. 電池のリサイクル

オムロン形Y92S-22はニッケル・カドミウム電池です。寿命になったニッケル・カドミウム電池および機器を廃棄する際に取り外したニッケル・カドミウム電池は、貴重な資源ですので、リサイクル協力店または本タイムスイッチをお買い上げいただいた販売店にお持ちください。なお、取り外した電池は、端子部をテープ等で絶縁し、電解液が人体に触れないようポリ袋等に入れ、水のかからない場所に保管ください。

操作方法

1. タイムスイッチ裏面の電池カバーを取りはずし付属の電池をセットしてください。



電池の極性は電池ボックス内部に表示されています。セット後はカバーを元の状態に戻してください。

2. セツ子ON-OFFをお望みの時刻のダイヤルに確実に差し込んでください。

ただし現在時刻位置のダイヤル満ちから±15分以内のダイヤル満にはセツ子を差し込まないで、中央部のツマミを回して現在時刻位置から少し移動させてからセツ子を差し込んでください。

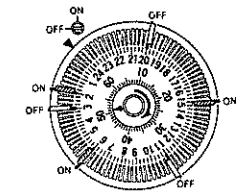
3. セツ子の取り付けが終了したら、電源および負荷を接続した状態で、中央部ツマミを矢印の方向にまわし、ダイヤルを1回転させて、セツ子をセットしたプログラムどおり、「ON-OFF動作表示」が切替わることを確認してください。

4. 中央部ツマミを矢印方向にまわして、正しい使い方

の2項の要領で現在時刻をセットしてください。

5. 以上で動作を開始します。

〔例〕



上図のセツにおけるタイムチャートは次のようになります。（現在時刻は23時51分を示しています。）



現在時刻 (23時51分)